

別記
第1号様式（第14条関係）

環境マネジメントシステム導入報告書

(宛先) 京 都 府 知 事	2019年 7月26日
住所（法人にあっては、主たる事務所の所在地） 〒 620-0853 京都府福知山市長田野町1丁目48番地	氏名（法人にあっては、名称及び代表者の氏名） ユアサ化成株式会社 代表取締役社長 高間 徹郎

環境マネジメントシステムの名称	ISO14001
適用範囲	京都長田野工場
導入年月日	平成16年 1月 9日
認証番号	JQA-EM3666
基本方針	原材料やエネルギーの効率的な利用と資源のリサイクル並びに環境汚染の予防、地域及び地球環境の保全に努め、継続的な改善を図る。また、法、条例、協定などの環境規制を順守する事はもとより、当事業所が同意したその他の要求事項を順守し、自主管理基準を設定して環境管理レベルの向上を図ります。
環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標（以下「目標」という。）	① 製造工程における原材料の廃棄率（廃棄量kg/原材料投入量kg）を削減する ② 製造工程における原材料のリサイクル率（リサイクル量kg）を削減する ③ ABSセパレータの不良セパレータの廃棄を削減する ④ 業務の改善を実施する（2018年度に3件以上改善実施する）。
目標を達成するための取組の内容	日々の工程監視及び管理の強化、多発不具合要因の未然予防及び顕在化した不具合の迅速な処置と維持改善を各部署のEMP及び各階層へ業務展開を行う。省エネに関する改善提案を工場全体で3件以上実施する。全従業員の環境に対する意識を高めるための全員参加型の貢献活動（工場周辺・構内のクリーンアップ）を実施する。
目標を達成するための取組の進捗状況	① 製造工程における原材料の廃棄率（廃棄量kg/原材料投入量kg）を削減については二部門で取り組む。その他は各部門ごとで環境管理プログラムにて進捗。その進捗については毎月環境管理会議にて経営者へ報告し、その指示を受けた。
目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価	成形課原材料廃棄率においては目標達成。リチウム部門においては特殊材料に起因するところにより未達成となったが、従来樹脂だけで見ると目標を達成できている。セバ・膜部門は新機種立上時の調整ロス増により目標は未達成となった。工程改善については全体で3件を実施し計画通り完了した。また全員参加型の活動を2回/年度実施した。
事業活動に係る法令の遵守の状況	ISO14001のシステム上は適時関連部署にて届出、報告等を実施し、環境管理責任者が年3回の順守状況を確認し経営者への報告実施。現状では届出及び報告事項を含め適正に実施。
環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容	2018年11月 ISO14001:2015更新審査を受審し、マネジメントシステムが有効であると判定された。環境方針等の変更はなし。

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合にのみ記入してください。